



# 三重県交通安全研修センターだより



三重県交通安全研修センターでは、幼児から高齢者までの皆様に、日常生活の中で潜んでいる交通に関する様々な危険について学習して頂き、楽しみながら身をもって交通のルールやマナーを自由に学ぶことが出来る施設です。

実際に【聞いて・見て・体験する】ことが大切です。ぜひお気軽にお越し下さい。  
また【団体研修】も行なっておりますので、お電話またはホームページよりご予約下さい。

## < 屋外体験 >



～ 交通公園 ～



～ スキッド体験 ～

## < 屋内体験 >



～ 展示ゾーン ～



～ シミュレータ～ ～ 四輪事故体験コーナー～

## ご利用は無料です

◇開館時間 午前9：30～午後4：30

◇休館日 土曜・祝日・年末年始（12/29～1/3）

<住所> 〒514-8518 津市垂水2566 三重県運転免許センター4階

<TEL> 059-224-7721

<FAX> 059-224-7641

<ホームページ> <http://www.safetyplaza-mie.com>

### ◆電車でお越しの方◆

近鉄名古屋線 「南が丘」駅 下車徒歩約10分

### ◆バスでお越しの方◆

三交バス 「運転免許センター前」停留所 下車徒歩約2分

### ◆自動車でお越しの方◆

国道23号線津市西阿漕町交差点から

→ 県道久居停車場津線（旧国道165号線）で久居方向へ約2km

伊勢自動車道久居ICから

→ 国道165号線で津市方向へ約3.5km



# 高齢者の交通安全

～ 事故に遭わない 安全な毎日のために ～

三重県の運転免許人口は125万人を超え、自動車保有台数も1世帯に概ね2台の計算となり、車社会を迎えているわけですが、近年、歩行中あるいは自転車乗車中を中心に多発する高齢者の方の交通事故防止が、緊急の課題になっています。

三重県内 高齢者の死亡事故				
	H18年	H19年	H20年	H21年
死者(人)	167	118	110	112
高齢者(人) (65歳以上)	70	55	56	65
構成率(%)	41.9	46.6	50.9	58.0

高齢者の方の事故では、この3つのパターンが多くなっています。

## ① 出会い頭の事故(自転車・バイク・自動車運転中)

特に信号のない交差点での安全確認を確実に実行しましょう。また、通り慣れた道、自宅付近での事故が多いのも特徴です。



## ② 右折・横断時の事故(自転車・バイク・自動車運転中)

確実に止まって安全を確かめましょう。動体視力や聴力、バランス能力などの低下という変化も自覚し、慎重な運転をお願いします。



## ③ 横断歩行中の事故

どこでも渡るのではなく、まず近くの信号や横断歩道を探しましょう。建物や止まっている車の影から道路に出ることは絶対に避けましょう。「遠くに見えても、車は速い…」通りすぎるのを待ち、ゆとりをもって渡りましょう。

また、朝方や夕暮れから夜間の事故が多くなっています。反射材を身につけ、自分の存在を目立たせる工夫をしましょう。



これまで、高齢者の方が関係する交通事故といえば、大半が歩行中に被害者になるケースでしたが、最近の傾向としては自動車等の運転中に事故を起こしてしまうケースが増えています。

高齢ドライバーに多い事故の原因として…

- 「相手が止まってくれるだろう」という判断
- 相手を早く発見しても、対応が遅れたり、ブレーキを踏まなかったりした
- スピードは控えめでも、減速のタイミングが遅れた
- 遠くで相手を発見しても、途中で目を離してしまった
- 危険に直面しても、アクセルから足を離すのが遅れた



などがあります。運転技能は年齢とともに変化していくものですから、基本に立ち返った正しい運転姿勢や技能の再確認をお願いします。

また、運転中も歩行中も、うつむき加減の姿勢が事故の要因になることがあります。背筋を意識して伸ばし、広く遠くを見るようにしましょう。

今後も進展していく高齢化社会において、世代を超えてお互いを理解しようとする交通安全意識を高めていきましょう。

## このような研修を はじめます

三重県交通安全研修センターでは、下記研修の諸準備を進めてきました。本年1月からは試行的に研修に組み入れています。お気軽にお問い合わせのうえ、ぜひご利用ください。

### ドライブレコーダー

実際にドライブレコーダーを取り付けた車を運転していただき、その後、モニターを使って映像記録を検証していきます。



### 電動車いす

「歩行者」の扱いになるという前提のもと、正しい取り扱いの話を聞いていただいたり、代表者の方に実際に乗っていただいたりします。

### 幼児二人同乗自転車

ダミー人形を使っての安全な乗せ方・降ろし方、ヘルメット着用などの話を聞いていただいたり、代表者の方に実際に乗っていただいたりします。



## ESC体験運転講習会 開催のお知らせ

現在、交通事故は衝突に対する自動車の安全装備の普及、緊急医療体制の向上、道路環境の整備等により死傷者数は減少しておりますが、交通事故の発生件数は依然として高い水準にあります。そこで、事故を未然に防ぐ予防安全として有効である※ESCについてその特性と効果を体験してみましょう。

※ESCとは急なハンドル操作時や滑りやすい路面を走行中に車両の横滑りを感知すると、自動的に車両の進行方向を保つように車両を制御します。ESCのコンピューターの指令に基づいて各車輪に適切にブレーキをかけて、車両の進行方向を修正、維持する装置です。

○開催場所: 三重県交通安全研修センター 津市垂水2566 ○募集人員: 20名(先着順)

○開催日時: 平成22年3月20日(土) 13:00~16:00

○参加料金: JAF会員・三重県交通安全協会会員: 1,000円 非会員: 2,000円

○申込先等: 社団法人日本自動車連盟三重支部(JAF) TEL059-222-2300

詳しくはホームページ ([http://jafevent.jp/event\\_info/drive/index.php](http://jafevent.jp/event_info/drive/index.php))

# 安全運転シリーズ ④

## ゆとりのある運転姿勢



スマートな運転をするには正しい運転姿勢を作ることが大切です。間違った姿勢では的確な操作もできません。

安全運転の第一歩は、ゆとりのある正しい運転姿勢です。

しかし、現状の多くのドライバーの運転姿勢は、体を斜めにしての運転・座席を後方に倒しての運転など緊急時に、ブレーキを素早く力いっぱい踏むことができないもので、もう少し素早く力いっぱいブレーキを踏んでいたら回避できたと思われる事故も少なくありません。

そのためにも、緊急時素早く力いっぱいブレーキを踏むことができる運転姿勢を保つことこそが、安全運転を確保するための重要ポイントです。

### ブレーキを素早く、力いっぱい踏み込むための運転姿勢



- ① シートバック（背もたれ）をできるだけ垂直に。
- ② 背中とお尻をしっかりと密着させて深く座る。  
お尻の後ろに空間があると、力いっぱいブレーキを踏んだときに、身体が後ろにズレ、ブレーキが効くタイミングが遅れる。
- ③ ブレーキペダルを力いっぱい踏み込んでも、膝がまだ十分に曲がっているようにシートの前後位置を調整する。
- ④ 運転中、左足はフットレストにきちんと乗せておく。
- ⑤ 頭が天井について不快にならない範囲で、シートの高さをできるだけ高めに調整する。  
ドライバーの視点が高いほど、運転視界が良好になる。

運転姿勢をポイントにより改善すると、シートが従来より前に出て、当初は窮屈に感じますが、すぐに慣れ、ハンドル操作もスムーズ・的確に行えるようになります。

また、脚力が衰えつつある中高年ドライバーや、男性に比べ脚力の弱い女性ドライバーは、正しい運転姿勢で、事故防止に努めましょう。

## ...シートベルトを正しく着用しましょう...